

【あい保育園国吉田】

●2023.1.16 ふりかえり(先生 1 名)

先生:いつも散歩に行くときも街なので、森とかそういうところに行く機会がほとんどなく、草花や木や虫にもふれあう機会がないので、ちょっとした草とか木の实にもうれしくてすぐ反応する姿が見られました。園庭も、木などの自然のものがまったくなくて、遊びに取り入れることもなかなかなかったの。森に入っていくところだけでも楽しそうで、実際に入ると広い原っぱになっていてそういうところにも行く機会がないので、やっぱりそこでやっぱり触れ合うのがうれしかったと思います。木に登るとかもできないので。あとは実際に歩いて自分たちで発見して質問する場面がたくさんあったなと思います。実際に触って、それをおもちゃにしたりとか、食べられるとか、これ危険なんだよってということを知れたっていうのは、やっぱり子ども達にとってはすごく大きなことだったのかなっていうのはありました。やっぱり歩くときもいつもはアスファルトなので、ああいう険しい山とかっていうのも歩く機会がないので、実際に滑るよとか、坂になっていると歩きづらいよとかっていうのも、体験できたのが大きいかなと思います。

—:スタッフのふりかえりの中でも出たのですが、あい保育園のお子さん達は、自然あそびの経験があまりないって事前に伺っていたのですが、実際に森で遊んでみたら私たちにはなんか慣れているように感じられたんですね。

先生:そうなんですね

—:ああいう遊具も何もない自然の中で、何かを発見できるっていうこと自体がやっぱり経験がないとなかなかできないし、そこで発見したものを使って遊ぶみたいなこともできなかつたりすると思うのですが、それがなんなくできる子たちだったので、すごいねっていうのが私達スタッフの驚きだったんですけど。それは先生方がまず率先して楽しんでいただいていたっていうのも大きいと思います。

先生:ふだんの保育でもやることが決まってないのですね。子ども達から出た声で進めていくっていうのがこの園の理念で、子ども達が自分で発見したものを広げていけたらいつも考えていて、もしかしたらそれが良かったのかなと思います。当日、わーって広がっちゃったから、ちょっと大変だったかなって思ったりもしたんですけど、そう感じてくださってたならよかったです。

—:スタッフのまこは、事前にここ行こうって計画してたのと実際は違ったみたいなんですけ

ど、子ども達の興味がすごくて。でも、それがすごい嬉しかったと思います。

先生:まこは、すごいいろんな遊びを紹介してくれて。じゃあ臨機応変に対応してくれたのですね。

—:子ども達の関心にあわせてさらに興味を引き出すっていうのを大切にしているので、そこは臨機応変に対応したんだと思います。お話を伺うと、子どもたちが主体的に遊ぶ力っていうのは、やっぱり大事だなって思いますね。私たちは自然の中だからこそ余計に育つというか、自然にはいろんな驚きがあって、子ども達がそれぞれ違った興味を持てる場所だからこそ、主体性が育ちやすいと考えて自然っていうフィールドを選んでいるんですけど。そうじゃなくても、先生たちの毎日のお声がけですごく育ってるんだなっていう実感がありました。

先生:あのあと、避難訓練で草薙球場の方まで歩いたのですが、時間があって近くの公園に行ったんですよ。その時に遊木の森でオオバコ相撲をやったのを覚えていた子が、これ一緒の草だよって言って。ちょっと枯れてたから、相撲はあんまりできなかったんですけどね。

—:季節が違くと違う姿になるっていう

先生:そうそう。あの時は葉っぱがもっと緑だったからだね、とか話をしたりして。異年齢で行ったので、1学年下の3才さんがなにになに?って聞いてきて、こうやって遊べるんだよって教えてあげたりして。蛇がくるからって言って、草があるところで手をたたいたり。園庭のすべり台のところでも手をたたいたりして。覚えてることをやってたりして、やっぱり本当にすごく楽しかったから記憶されてるんだと思います。

—:そんなに覚えていてくれるとは嬉しいです。

先生:あとは葉っぱとかも食べたのは、あれも体験できることってなかなかなくて、知識がある方がついているからこそって思うので。フイチゴもう一回食べたいなって言っていました。覚えていることをふとした時に言ってきたりします。

—:ふだんどんな言葉かけをされているんだろうってすごく気になったんです。

先生:なるべく子ども達から出た声を聞くっていうのは気をつけているんですけど、あとは子ども達が夢中になれることだったんですよ、きっと。それが一番大きいのかなって。

—:それに、見つける力をすごい持っていて、大人に伝える力や、それをお友達同士で認め合って共有する力もすごくある子たちですごいなあと思いました。

先生:クラスの人数が少ないこともあると思います。2才から入ったらずっと同じ人数で生活して一緒に育っている子ども達なので、そういう信頼関係はあるのだと思います。

—:見つけたものを使って遊ぶってところも私達の目標にしていたのですが、そのあたりの姿はその後見られたでしょうか？

先生:おままごとが好きな子たちが多いので、教えてもらった石なんかで、この前はキャンプでバーベキューやるって言って遊んでいました。あとは大きなオレンジ色のやつを持って帰ってきたので…

—:カラスウリ？

先生:そうそう。これはカラスウリって言うんだってって自信满满にお母さんに見せていて。それは見るのが好きな子ですけど、ごっこ遊びも好きですし、何かを作ることが好きなので、画用紙に葉っぱを貼って絵を描いたり、それもパリパリになっちゃったのですが。

—:なんかパリパリの葉っぱでふりかけ、とかもやってましたね。

先生:そうそう。

—:やっぱり想像力を膨らませられるってすごいことですね。

先生:そう。毎日行けるくらいです。

先生:もっと小さい子たちも遊木の森に行きたいねって話をしている。ふだんも泥遊びなど好きな子たちが多いので、このプログラムが終わったあともいろんな行事があったんですけど、なにが楽しかった？って聞くと遊木の森って言ったりしています。

—:うれしいです。

先生:本当に最後まで楽しめたので。なんかお弁当を食べて、その後ただ原っぱを走るだけで

も楽しそうで。

—:楽しそうでしたね～

先生:あれだけでも本当にあの子たちにとってはいい時間で。自由に走る子もいれば、木の実に
とってる子はとっててっていう。ただ板があっただけでも、そこでユラユラしたりして。

—:それぞれが楽しいこと見つけれらるっていうのは理想的ですね。

先生:とてもいい体験になったなって。

—:今回貸切バスで来てもらいましたが、それはどうでしたか？

先生:最高でした。時間もちょうどよくて、帰りも疲れてても寝る直前で着くかなっていう。坂
道も楽しかったみたいで。

—:よかったです。ありがとうございました。